

を結ぶ重要な路線であり、LRT化については強い関心を持っている。担当課に調査研究を指示しているが、事業主体や完成後の運営主体が明らかになっていない。吉備線が重要な路線とはいえ、巨額の経費を要する



LRT化が検討されているJR吉備線

ことから、慎重に事業化を検討していく必要がある。岡山市から協調して吉備線LRT化事業を進めてほしいとの働きかけもあり、今後も関係機関との連携を図りながら研究を進めていきたい。(市長)

環境問題について

問 選挙公約でゴミ袋の値下げを検討すると言われたが、考えはどうか。

答 ごみ収集有料化の目標である減量化率20%の目標達成期間を平成20年度までと考えている。平成20年度のごみ排出量を勘案し、総社市廃棄物減量等推進審議会の意見を聞きながら、ゴミ袋の料金の引き下げを含めて検討していきたい。(市長)

差を是正するために、人口比率や小学校数に応じた区域の設定をすべきと考えるがどうか。

答 主任児童委員については、民生委員協議会の規模により定数が定められており、39名以下の民生委員に対し2名という地域指定がある。しかし、地区により小中学校数や児童数等の事情が異なること、また委員増員の要望もあることから、主任児童委員の増員について県と協議を行い、具体的な方法を検討している。地域の実情に応じた定数設定ができるよう、実施時期、方法についての研究・協議を進め、増員を要望していきたい。(市長)

営しないと、大きい大会は運営できない。また、国の補助金を活用するためにも、体育協会の専門部などが全国大会を行うおうとするときは、市が主催することはできないか。

答 主催については市または教育委員会が主体となって実施するもの、ま

服部剛司

市長の政治姿勢について

問 ①医療問題は、市民が市長に非常に期待をしている一つだと考えるが、提案説明を含め、何も話がない。吉備医師会とどのような方向に進んでいるのか。市長の公約である休日・夜間診療体制の整備を早急に進めるべきと考えるがどうか。

答 ①医療体制の整備については、本市の最重要課題と考え、吉備医師会と断続的に協議を行っている。今のところ、夜間の診療体制については在宅方式という流れの中で協議を行っている。今後も密なる協議を重ねていきたい。また、第3次救急の搬送体制の一つとして、ドクターヘリの活用を加えていき

体育振興について

問 今の競技は専門性が非常に高く、市の主催で、市の職員だけでは大会が運営できないのが現状である。体育協会の専門部などが大会を開催したい場合に、一緒に開催したい大会を運

村木理英

子育て王国実現について

問 児童福祉に関する事項を専門的に担当する事

たい。②本市の人口は、少しずつではあるが増加傾向であり、国の掲げるコンパクトシティを目指し、乱開発を防止するなど、バランスのよいまちづくりを行いたいと考えている。笠岡市の状況を注視しながら、どうあるべきかを考えていきたい。③高梁川新架橋については、議会で議決して既に着工しているという事実があるが、一方で市民の中にもこの橋はいかなるものかという声があることも事実である。新架橋のあり方について、ゼロペー

スで審議会を立ち上げ、議会の意見、費用対効果などのデータを公



高梁川新架橋のあり方について審議会で検討されている

表し、判断をしていくべきだと考えている。審議会の答申を受けた後、議会と相談をしながら、10月までに決断をしていきたい。(市長)

大熊公平

ごみの減量化対策について

問 ①平成20年度のごみの削減目標20%に対し、平成18年度は15%、平成19年度は17%と、期待した率が出なかった。評価と分析はどうか。②ごみ減量化の新たな展開はどうか。また、第5期分別収集計画にはペットボトル・白色トレイを除くプラスチックごみの分別収集(リサイクル)は行わないと書かれている。ごみ減量化を図るため、ペットボトル・白色トレイを除くプラスチックごみの分別収集を検討する考えはないか。

答 ①分別やごみ軽減化に対する市民の意識の高揚については、目標を達成しつつあると考えている。②総社市ごみ減量化作戦連合協議会などと協力して、量販店等に対してのレジ袋の有料化やマイバックの推進などに向けた協議の場を設けていきたい。また、プ

萱原潤

都市景観行政について

問 街路樹は都市景観を醸成するものであるが、長年、皆伐に近い剪定を行ったため、花もつかないほど傷ましい状況であった。このたび花をつけたが、環

た共催・後援については行政の見地から奨励または支援しようとするものであり、行事ごとに判断をしている。また、全国大会等の運営について、大会等の規模や内容等により判断することになるが、今のところ共催はできるのではないかと考えている。(教育長)

対策の施策として、都市計画の線引きを廃止できないか。③高梁川新架橋について、今はそんなに負担が要らなくても、将来に渡って負担が残る。将来に禍根を残すような事業にならないか。

答 ①医療体制の整備については、本市の最重要課題と考え、吉備医師会と断続的に協議を行っている。今のところ、夜間の診療体制については在宅方式という流れの中で協議を行っている。今後も密なる協議を重ねていきたい。また、第3次救急の搬送体制の一つとして、ドクターヘリの活用を加えていき

市計画税を払いたいと思えるような計画を練るべきと考えるがどうか。

答 現在、清音地域で都市計画事業を実施しているが、その後の具体的な計画はない。平成22年から徴収することになる都市計画税については、都市施設の整備とともに、都市計画事業のために借りた地方債の返還に充てていくことになる。

今後の清音、山手地域の都市計画事業については、住民などの声を聞きながら、検討していきたい。(市長)

このほか、上水道事業について質問をしています。

境と共生するまちづくりや協働のまちづくりと整合性のとれる街路樹の管理のあり方、考え方を聞きたい。

答 前年度強い剪定をしなかつた部分の枝に花をつけたと思うし、木に対する思い入れをもって接した結果が花をつけたと思う。